



鬼塚 哲郎 (おにつか・てつろう) 氏
静岡県立静岡がんセンター頭頸(けい)部外科部長
1987年長崎大学医学部卒。96年より国立がんセンター東病院頭頸科勤務。2002年4月より静岡がんセンター頭頸科部長。日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本頭頸部癌学会評議員、日本癌学会評議員、日本癌治療学会、日本頭頸部外科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本口腔咽喉学会、日本甲状腺外科学会などに所属。医学博士。

歯並びが、
がんの原因に

頭頸(けい)部がんとは
首から上にできるがんで、

口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、甲状腺がん、上顎がん、耳下腺がんなど多くの種類があります。頭頸部がんは食事、発声、会話の機能を司る臓器に起こります。また、顔の周辺ということで、容姿にも大きく影

響するため、患者さんの生活の質に大きく関わる疾病です。
口腔がんの主な原因は虫

歯や歯並び、歯周病といっ

頭頸部がんの最新治療

静岡県立静岡がんセンター
頭頸(けい)部外科部長
鬼塚 哲郎 氏

舌がんを発症しました。また、別の患者さんは、虫歯のかぶせ物が舌にあたったことが、がんの原因でした。歯が舌に与える影響は大きく、舌にできた口内炎が長期間治らない場合は、ごく初期の舌がんの可能性があるので、専門医を受診してください。

また多くの頭頸部がんが喫煙と過度の飲酒と深く関係しています。口だけでなく、刺激物にさらされる食

慣を続けると、平均で63歳ころに頭頸部がんの発症リスクが高くなります。免疫力が低下する50歳からは禁煙、飲酒量の低減に心掛けましょう。

また、電流に対する神経の反応を利用し、見えにくい神経の場所を音で確認する神経モニタリングを使って、食事が取りにくくなったりと、声がかれてしまったりといった後遺症を少なくする手術を実践しています。

また、内視鏡の性能が向上し、咽頭がんを早期に発見し、内視鏡による切除治療ができるようになりました。後遺症が少なく、退院も早いのが特徴です。

道、肺、胃、大腸のがんの原因にもなりますので、頭頸部がんの患者さんを診察する場合、これらのがんの可能性も検査します。

念な準備が欠かせません。この部分には数多くの神経があり、それらを残すことができれば後遺症が少なくなるからです。

最近では内視鏡やロボットを使った手術が広がっていますが、全ての手術の基本は術者の高い技能です。

見し、内視鏡による切除治療ができるようになりました。後遺症が少なく、退院も早いのが特徴です。

さらに、術後の身体機能を回復させるリハビリテーション科の存在も重要で

このほか、栄養管理により免疫力を高めるため管理栄養士など「コメディカル」とよばれる医師以外の医療従事者も含めてチームを作り、患者さんの生活の質(QOL)をできるだけ高められる治療を行っています。

がんを正しく恐れよう ~最新の治療とケア~

〈企画・制作/静岡新聞社企画事業局〉

静岡県立静岡がんセンター公開講座第9弾「がんを正しく恐れよう~最新の治療とケア~」(静岡新聞社・静岡放送、三島市民文化会館主催、県立静岡がんセンター共催、スルガ銀行特別協賛、三島市、同市教育委員会後援)の第4回が昨年12月22日、三島市民文化会館で開かれ、鬼塚哲郎頭頸(けい)部外科部長と中川雅裕再建・形成外科部長が「頭頸部がんの最新治療」「がん再建形成の治療」をテーマに講演しました。その概要をお伝えします。

自分の組織を
再建に利用

形成外科とは体の表面にある傷や、腫瘍の摘出や、がんなど腫瘍を摘出した後の外見や機能を再建する手術を行っています。骨や筋肉、関節などを動かす臓器「運動器」の病気を治療するのが「整形外科」。健康な人の正常な部分の見た目を改善するのが、形成外

科の一分野である「美容外科」です。

形成外科手術で難易度が高いのが、患者さん自身の

がん再建形成の治療

静岡県立静岡がんセンター
再建・形成外科部長
中川 雅裕 氏

体から組織を移植する「自家遊離組織移植手術」です。

他人からの移植では免疫反応がありますが、この方法

出す必要があります。

高度な手術で
機能回復も

再建手術では手術用顕微鏡を使いながら、線香の太さ、直径2ミリの血管を、クモの糸ほどの糸でつなげていきます。筋肉、神経もつなげることで、飲み込む際の舌の動きまで再建することができま

なげて、リンパ液を血管に流す「リンパ管細静脈吻合術」を行っています。リンパ管は直径0.5ミリの細く、クモの糸の10分の1程度の糸を使いながら静脈に縫い付けていきます。この手術は足のリンパ浮腫にも適用しています。

手術用ロボットの導入などで、より難易度の高い手術が可能になってきました。が、今後は人工素材や、iPS細胞(誘導多能性幹細胞)を



中川 雅裕 (なかがわ・まさひろ) 氏
静岡県立静岡がんセンター再建・形成外科部長
1991年愛媛大学医学部卒。東京大、自治医科大学形成外科を経て2001年東京大大学院医学系研究科外科学専攻博士課程修了。埼玉医大形成外科講師を経て02年、静岡がんセンター形成外科(現再建・形成外科)部長。日本形成外科学会専門医、同学会皮膚腫瘍外科指導専門医、日本がん治療認定機構がん治療専門医、暫定教育医、同創傷外科学会専門医。

間70例、開院以来、700

乳がんの患者数増加に伴い、乳房の再建手術も多くなりました。豊胸にも使われるシリコンバッグを入れる人工乳房手術は乳腺を取り除いた後、バッグを入れます。また、健康保険が適用されず、自己負担となりますが、この手術を受ける

患者数は増えています。自家組織移植の場合、腹部の脂肪と皮膚を使って再建します。腹部についた傷はやがて目立たなくなっていくきます。この手術は今後保険が適用されることになると思います。また、乳がんの手術後にリンパの流れが悪くなり手がむくむ「リンパ浮腫」が起きることがあります。がんセンターではリンパ管と細い静脈をつ

多様な手術を行う形成外科ですが、がん治療は数多くの診療科が関わります。がん治療は数多くの診療科が関わります。がん治療は数多くの診療科が関わります。

がんセンターでは「担当当医」とよばれる医師が各診療科のコーディネーター役を務め、全体をまとめま

質疑応答

事前や当日寄せられた質問を中心に質疑応答が行われました。紙面の都合により、本講座の内容に即した質問事項をまとめました。

Q 歯並びが悪いだけで、がんのリスクは高くなりますか。
鬼塚 歯並びが悪くてもすぐにがんの心配はありません。しかし、慢性的な舌への刺激ががん化の原因です。歯にあたる舌の部分が常に炎症を起こしている場合は舌がんの可能性もあるので、専門医を受診してください。

Q 人工乳房と自家細胞移植の違いを教えてください。
中川 自分の体の組織の一部を使う自家移植は免疫反応の心配がありません。手術や入院の期間は長くなりますが、健康保険が適用されます。一方、人工移植はシリコンバッグの形が自分に合わない場合があります。手術・入院期間は短くなりますが、アレルギー反応に注意が必要です。保険が利かず、手術・入院など全てが自費負担となります。

Q 年齢やライフスタイルを考え、自身に最適な再建手術を選んでください。
山口

チーム医療が 生活の質を向上

頭頸部がんは口腔環境との関係が深く、容姿や、摂食、発声などの身体機能に大きく影響するため、数多くの診療科が関わります。組織を大きく摘出したあとの再建に欠かせない形成外科をはじめ、歯科口腔外科、消化器内科、放射線・陽子線治療科、痛みをコントロールする緩和医療科などに加え、最近

す。がんセンターはがん専門病院として日本で初めてリハビリテーション科を設置した病院です。がんの転移を治療するためにリンパ節を摘出する「頸部リンパ節郭清術」を行うと、周囲の神経も切除しなければいけないケースがあります。が、当センターでは開院当初から、頸部郭清後の上肢リハビリを取り入れ、肩があがらないという副作用の軽減に効果を上げています。

チーム医療で
治療成績向上を
多くの診療科が関わります。がん治療は数多くの診療科が関わります。がん治療は数多くの診療科が関わります。